

ソフトウェア製品セキュリティ情報

Software Vulnerability Information

ソフトウェア事業部 (Software Division)

| ホーム | 製品&サービス | >> セキュリティ |

▶ 英語ページへ

HITACHI
Inspire the Next

日立サイトの検索 by Google

> GO

> 詳細な検索

ホーム > 製品セキュリティ情報 > ソフトウェア事業部セキュリティ情報 > HS02-009

2003.07.07更新

分割メール中に含まれるウイルスを検出できない脆弱性 に関するセキュリティ問題の説明

Groupmax Mail - SMTP において、Groupmax Server - Scan が分割メール中に含まれるウイルスを検出できない問題に関するセキュリティ上の問題があることが判明しました。つきましては、該当する問題の対応策を提示させていただきますので、留意の上、ご利用いただきますようお願いいたします。

対象製品は以下の通りです。ただし、Groupmax Mail-SMTPを使用してE-Mail連携を行い、かつGroupmax Server - Scanを用いてE-Mail連携のメールをウイルスチェック対象にしている構成の場合以外は本件は該当しません。

項番	形名	製品名	対象バージョン	適用OS
1	P-2446-5134	Groupmaxサーバセット Version 5	全VR	Windows
2	P-2446-513U	Groupmaxサーバセット アップグレード Version 5	全VR	Windows

- > [トップ](#)
- > [What's New](#)
- > [お知らせ](#)
- > [御参考 \(警告情報など\)](#)
- > [ソフトウェア製品セキュリティ情報](#)
- > [セキュリティ対応機関へのリンク](#)
- > [お問い合わせ](#)
soft-security@itg.hitachi.co.jp

個人情報保護ポリシーにご同意頂ける場合のみ、上記アドレスをご利用下さい。ご同意頂けない場合には、お問い合わせに回答できない場合があります。なお、入力頂いた個人情報は本ポリシーに従って適切に管理し、問合せ対応のためにのみ使用します。第三者への個人情報の提供、預託、開示は法令に基づく場合を除いて行いません。お問い合わせへの回答後、個人情報は当社が責任を持って適切に廃棄いたします。

- > [日立および他社の商品名称に関する記述](#)

3	P-2446-5334	メールサーバセット Version 5	全VR	Windows
4	P-2446-533U	メールサーバセット アップグレード Version 5	全VR	Windows
5	P-2446-5634	グループウェアサーバセット Version 5	全VR	Windows
6	P-2446-563U	グループウェアサーバセット アップグレード Version 5	全VR	Windows
7	P-2446-5144	Groupmaxサーバセット Version 6	全VR	Windows
8	P-2446-5344	メールサーバセット Version 6	全VR	Windows
9	P-2446-5644	グループウェアサーバセット Version 6	全VR	Windows
10	R-15236-636	Groupmax Server - Scan Version 5	全VR	Windows
11	R-15236-637	Server - Scan - Connector Version 5	全VR	Windows
12	R-15236-656	Groupmax Server - Scan Version 6	全VR	Windows
13	R-15236-657	Server - Scan - Connector Version 6	全VR	Windows
14	P-1646-513	Groupmaxサーバセット Version 5	全VR	HI-UX/WE2
15	P-1646-513U	Groupmaxサーバセット アップグレード Version 5	全VR	HI-UX/WE2
16	P-1646-533	メールサーバセット Version 5	全VR	HI-UX/WE2
17	P-1646-533U	メールサーバセット アップグレード Version 5	全VR	HI-UX/WE2
18	P-1646-563	グループウェアサーバセット Version 5	全VR	HI-UX/WE2
19	P-1646-563U	グループウェアサーバセット アップグレード Version 5	全VR	HI-UX/WE2
20	P-1646-514	Groupmaxサーバセット Version 6	全VR	HI-UX/WE2
21	P-1646-534	メールサーバセット Version 6	全VR	HI-UX/WE2
22	P-1646-564	グループウェアサーバセット Version 6	全VR	HI-UX/WE2
23	R-16236-636	Groupmax Server - Scan Version 5	全VR	HI-UX/WE2
24	R-16236-656	Groupmax Server - Scan Version 6	全VR	HI-UX/WE2
25	P-1B46-5131	Groupmaxサーバセット Version 5	全VR	HP-UX
26	P-1B46-513U	Groupmaxサーバセット アップグレード Version 5	全VR	HP-UX
27	P-1B46-5331	メールサーバセット Version 5	全VR	HP-UX
28	P-1B46-533U	メールサーバセット アップグレード Version 5	全VR	HP-UX
29	P-1B46-5631	グループウェアサーバセット Version 5	全VR	HP-UX
30	P-1B46-563U	グループウェアサーバセット アップグレード	全VR	HP-UX

		Version 5		
31	P-1B46-5141	Groupmaxサーバセット Version 6	全VR	HP-UX
32	P-1B46-5341	メールサーバセット Version 6	全VR	HP-UX
33	P-1B46-5641	グループウェアサーバセット Version 6	全VR	HP-UX
34	R-18236-636	Groupmax Server - Scan Version 5	全VR	HP-UX
35	R-18236-656	Groupmax Server - Scan Version 6	全VR	HP-UX
36	P-1M46-5141	Groupmaxサーバセット Version 6	全VR	AIX
37	P-1M46-5341	メールサーバセット Version 6	全VR	AIX
38	P-1M46-5641	グループウェアサーバセット Version 6	全VR	AIX

【問題の内容】

インターネットクライアントは1通のメールを分割送信する場合、RFC2046で規定している方式で分割して送信します。インターネットクライアント(POP3/IMAP4)を使用してGroupmax Mail Serverから分割メールを取り出しますと、分割メールは復元され1つのメールになります。この分割メール中にウィルスが含まれていた場合、復元されてはじめてウィルスが顕在化します。この復元されたウィルスが顕在化したメールを参照する事により、ウィルスに感染する恐れがあります。

なお、Groupmaxのクライアントでは分割されたメールを結合する機能はないため、本件には該当しません。

【発生条件】

下記全ての条件に該当した場合にウィルスに感染する恐れがあります。

- Groupmax Mail - SMTPでMIME構造情報(mimestructure)の設定を有効にしている
(デフォルトは無効)

Groupmax Mail ServerのセットアップでPOP3/IMAP4機能を有効にしている

(デフォルトは無効)

- Groupmax Server - Scanを導入している
- インターネットクライアント(POP3/IMAP4)を使用してGroupmax Mail Serverから全ての分割メールを取り出し、復元処理を行なう
- Groupmax Mail - SMTPとファイアウォールの間E-Mailのウイルスチェックが可能なソフトウェアを導入していない、または、導入しているが分割メールのウイルスチェックに対応していない
- インターネットクライアント(POP3/IMAP4)を使用しているクライアントマシン上でウイルスチェックソフトを導入していないまたは導入しているが常駐していない

【対応策】

以下のいずれかの対応策があります。

- Groupmax Mail - SMTPでMIME構造情報(mimestructure)の設定を無効にする
- インターネットクライアント(POP3/IMAP4)を使用しているクライアントマシン上にウイルスチェックソフトを導入し常駐化する
- Groupmax Mail - SMTPとファイアウォールの間分割メールに対応したE-Mailのウイルスチェックを導入する

Groupmax Mail - SMTPでMIME構造情報(mimestructure)の設定を無効にする手順を示します。

項番	手順
1	Mail-SMTPサービスを停止する。
2	Windows NT/2000の場合はMail-SMTPセットアップ, HI-UX/WE2,HP-UX,AIXの場合はsmtpmngコマンドを起動する。
3	"smtpmng>" というプロンプトで"2"(2.edit_format(ef) : 書式の設定変更)を選択する。
4	"edit_format>"というプロンプトで"3"(3.受信メールの書式に関する設定)を選択する。
5	"edit_rcvformat>"というプロンプトでメニューから"1"(1.現在の設定値の表示)を選択する。
6	設定項目の一覧が表示されるので"MIME_STRUCTURE = off"という行が表示されている場合は…問題は発生しません もし…"MIME_STRUCTURE = on"という行が表示されている場合は…項番7以降の設定変更に必要となる
7	"edit_rcvformat>"というプロンプトで"4"(4.MIME構造情報ファイルの設定(mime_structure))を選択する。
8	"変更する値 (MIME_STRUCTURE) ->"という入力プロンプトに対して"off"を入力する。
9	"設定しますか? (Yes/No)"というプロンプトに対して"Yes"を入力する。
10	"edit_rcvformat>"というプロンプトで"99"を入力する。
11	"edit_format>"というプロンプトで"99"を入力する。
12	"smtpmng>" というプロンプトで"99"を入力する。
	06-02以前の場合は"設定しますか? (Yes/No)",06-50の場合は"現在の

13	設定値でコンフィグレーションファイルを生成しますか？(Yes/No)"というプロンプトに対して"Yes"を入力する。
14	Mail - SMTPサービスを起動する。

本設定変更を行なった場合、E-mailには存在するがGroupmaxMailシステムでは存在しない属性値(Reply-To,Received等)がPOP3/IMAP4クライアントで参照できなくなります。

また、分割メールを結合する機能を持ったインターネットクライアント(POP3/IMAP4)でGroupmax Mail Server から分割メールを取り出しても結合されず、分割された2通目以降のメールの本文がゴミとなります。

更新履歴：

- 2003.07.07 : このセキュリティ情報ページをリニューアルしました。

-
- 弊社では、セキュリティ対応に関して正確な情報を提供するように努力しておりますが、セキュリティ問題に関する情報は変化しており、当ホームページで記載している内容を予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。情報ご参照の際には、常に最新の情報をご確認いただくようお願いいたします。
 - 当ホームページに記載されている製品には、他社開発製品が含まれております。これらのセキュリティ情報については他社から提供、または公開された情報を基にしております。弊社では、情報の正確性および完全性について注意を払っておりますが、開発元の状況変化に伴い、当ホームページの記載内容に変更が生じることがあります。
 - 当ホームページはセキュリティ情報の提供を目的としたものであり、法律上の責任を負うものではありません。お客様が独自に行なった(あるいは

行なわなかった)セキュリティ対応その他のご行為の結果につきまして、
弊社では責任を負いかねます。

- 当ホームページから他サイトのページへのリンクアドレスは情報発信時の
ものです。他サイトでの変更などを発見した場合には、リンク切れ等にな
らないように努力はいたしますが、永続的にリンク先を保証するものでは
ありません。

 [ページトップへ](#)

[| サイトの利用条件 |](#) [| 個人情報保護ポリシー |](#) [| 日立について |](#)

©Hitachi, Ltd. 1994, 2008. All rights reserved.